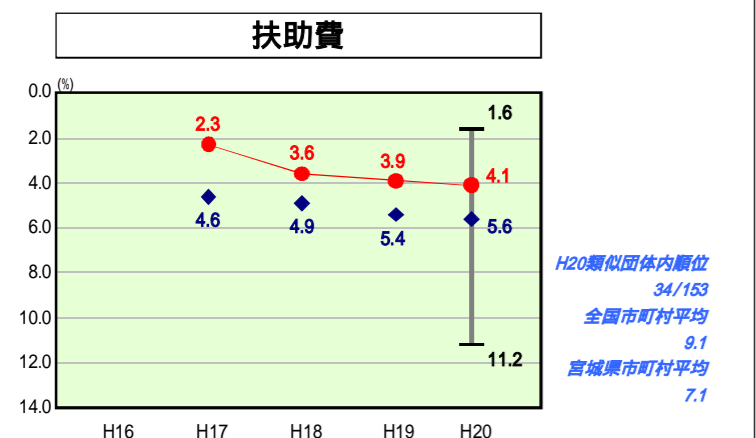
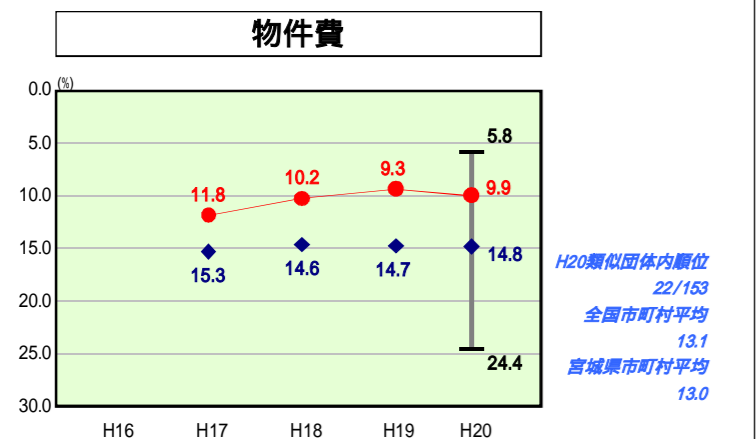
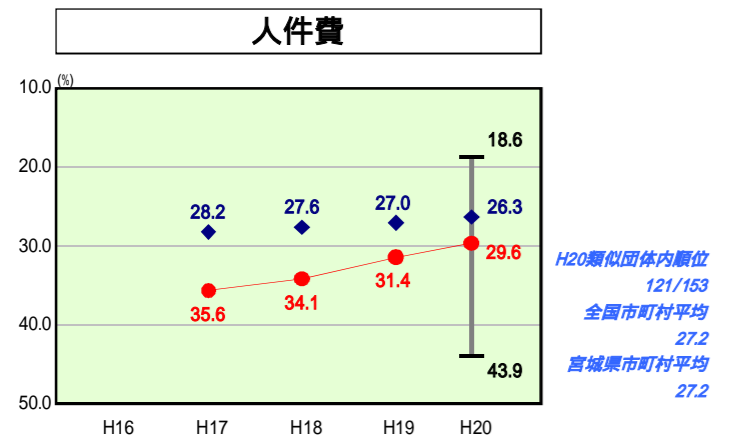
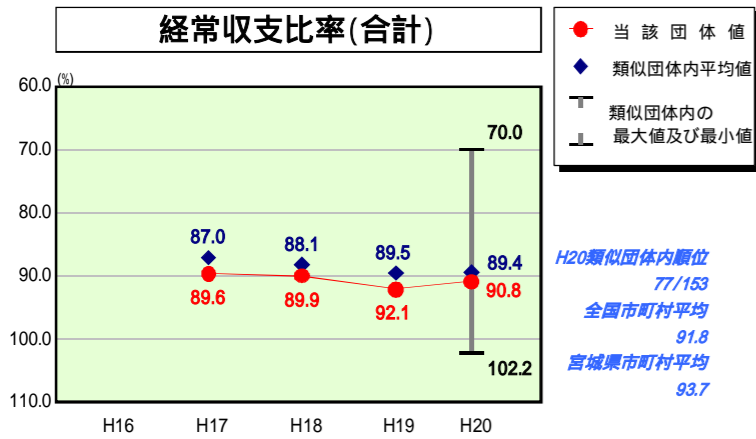
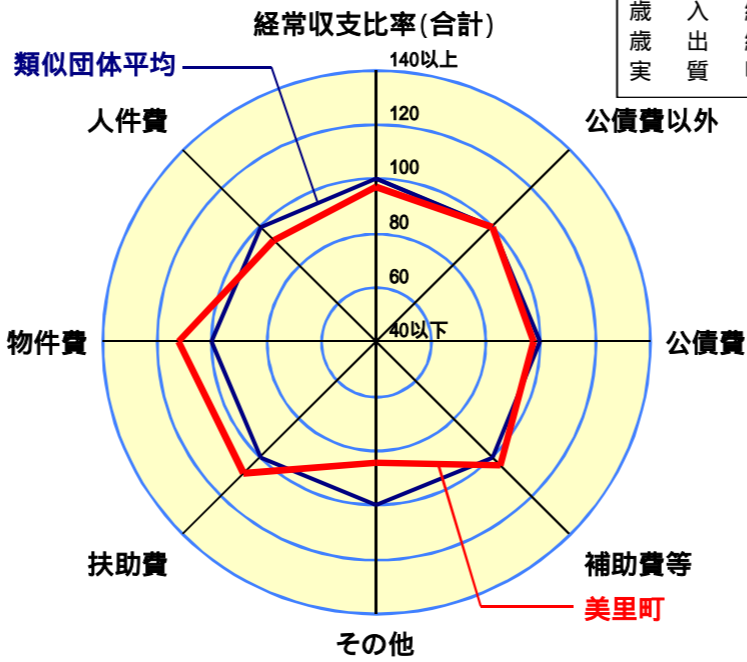


歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人口	25,885人(H21.3.31現在)
面積	75.06 km ²
標準財政規模	6,567,025千円
歳入総額	9,331,110千円
歳出総額	9,121,013千円
実質収支	146,686千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費
人件費に係る経常収支比率は、平成20年度において、29.6%と類似団体と比較し高い水準にある。これは幼児教育や社会教育等に係る職員数が多いことが主な要因あり、今後は定員適正化計画に基づき職員数を削減することや指定管理者制度の導入を検討し、人件費削減に努める。

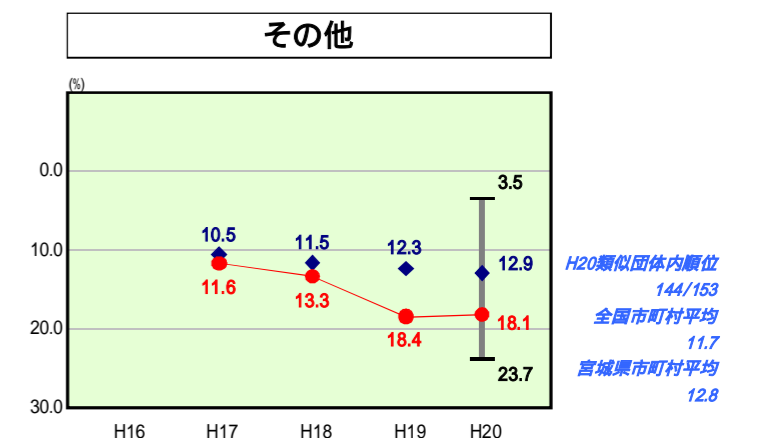
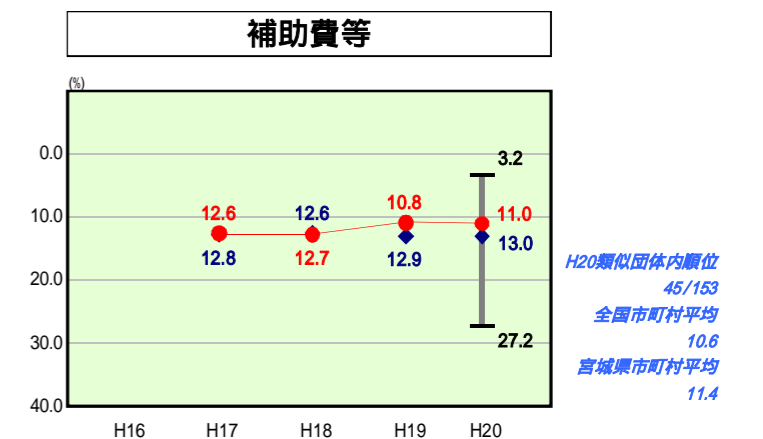
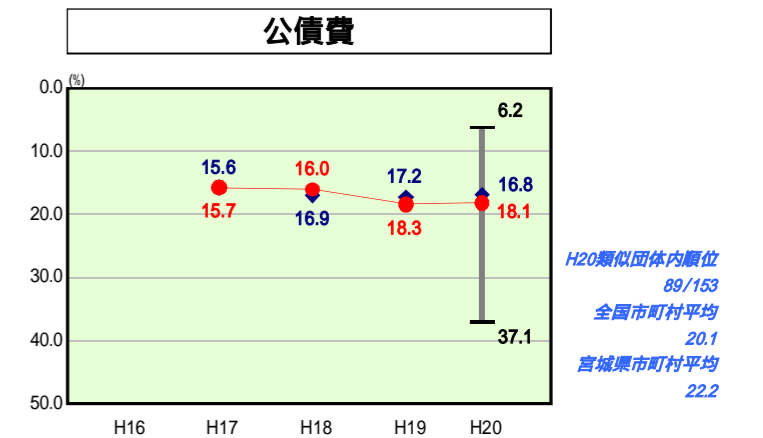
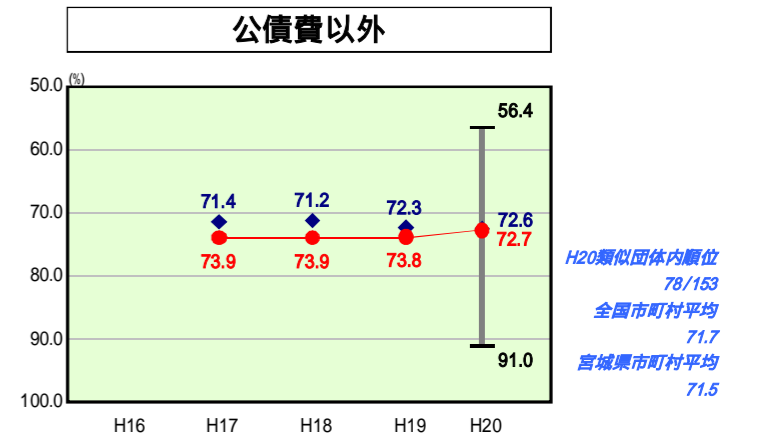
物件費
物件費に係る経常収支比率は類似団体平均と比較すると低くなっており、人口一人当たりの物件費においても類似団体平均に比べ、5,345円低くなっている。社会教育施設運営を直営で行っているためであり、今後は職員人件費から委託料へのシフトを進めることにより、コスト削減に努める。

扶助費
扶助費に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っているが、障害者福祉を始め毎年度上昇してきている。今後さらに少子高齢化が進んでくると扶助費の増加が見込まれる。

補助費等
補助費等の経常収支比率は類似団体平均を下回っているが、人口一人当たりの金額は22,387円類似団体平均を上回っている。これは国営かんがい排水事業等負担金が多額となっているためである。

公債費
公債費の経常収支比率は類似団体平均をやや下回っているが、人口一人当たりの金額は13,176円類似団体平均を上回っている。主な要因として臨時財政対策債や合併特例債の償還が多いためであるが、今後もこの傾向は続く見込である。

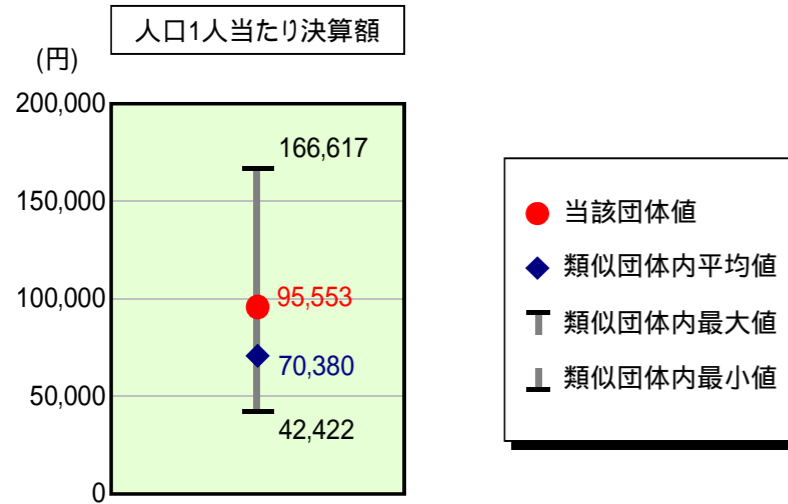
その他
その他に係る経常収支比率が類似団体平均を大きく上回っている。主な要因としては下水道事業や後期高齢者医療会計等への繰出金が多額であることである。今後は企業会計としての企業努力により、自主財源の確保を図り、普通会計の負担額の減少に努める必要がある。



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

宮城県 美里町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



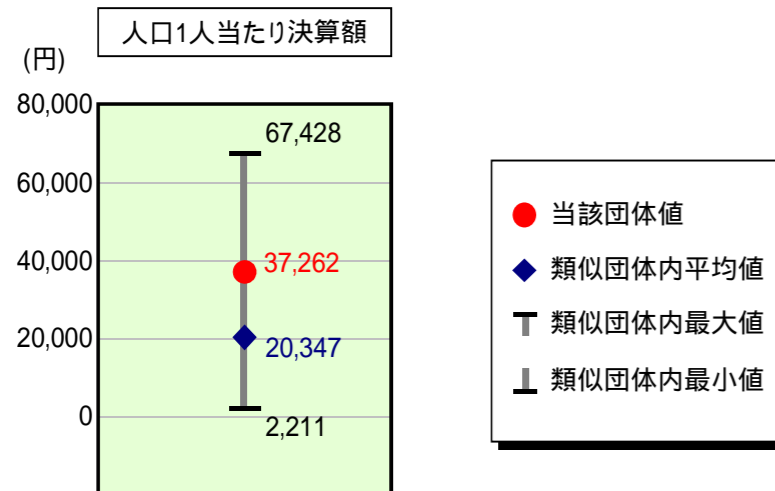
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	2,097,800	81,043	60,148	34.7
賃金(物件費)	117,404	4,536	4,385	3.4
一部事務組合負担金(補助費等)	277,087	10,705	7,506	42.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	88,728	3,428	133	2,477.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	69,563	2,687	3,106	13.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	18,748	724	1,188	39.1
退職金	195,939	7,570	6,086	24.4
合計	2,473,391	95,553	70,380	35.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.12	6.73	2.39
ラスパイレス指数	94.7	96.1	1.4

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

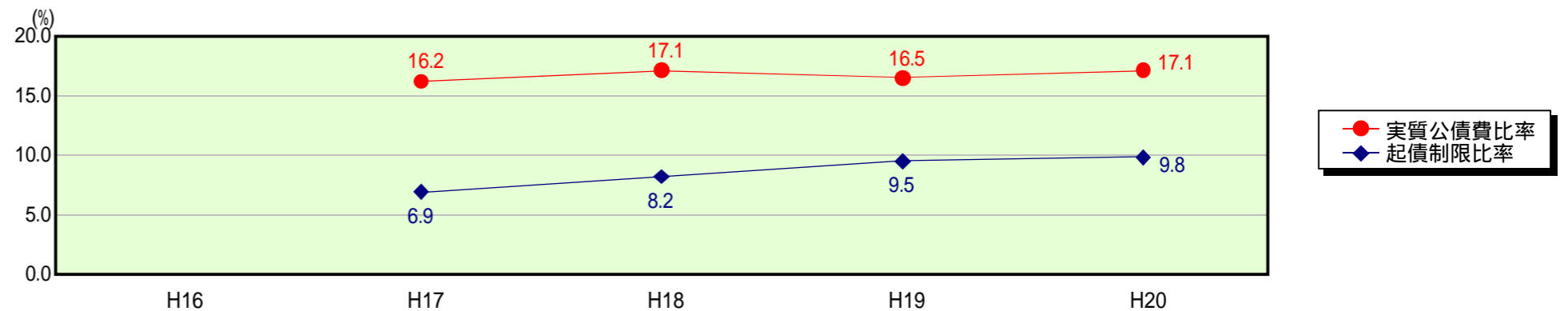


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,117,029	43,154	32,176	34.1
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	11	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	573,602	22,160	10,000	121.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	68,840	2,659	4,047	34.3
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	142,619	5,510	1,507	265.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	11	-
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	937,565	36,220	27,406	32.2
合計	964,525	37,262	20,347	83.1

平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている(以下の項目について同じ。)

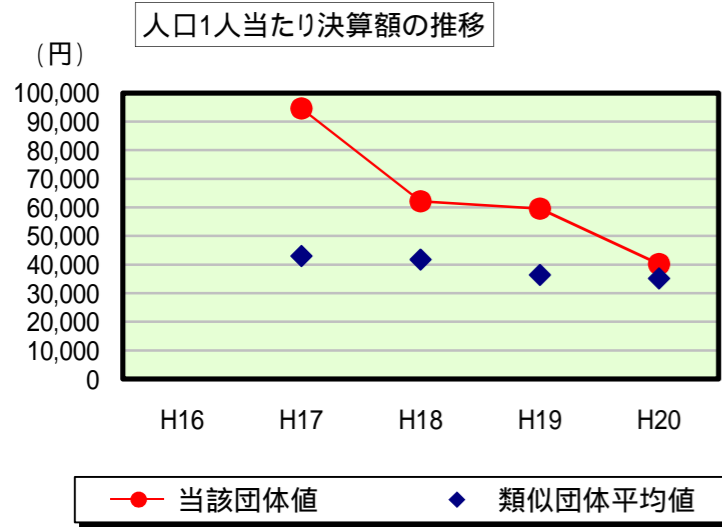
参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

宮城県 美里町

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H16	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H17	2,527,658	94,552	-	42,971	-	-
うち単独分	1,229,512	45,992	-	27,006	-	-
H18	1,643,856	62,131	34.3	41,759	2.8	31.5
うち単独分	621,638	23,495	48.9	25,833	4.3	44.6
H19	1,554,483	59,579	4.1	36,358	12.9	8.8
うち単独分	810,477	31,063	32.2	21,039	18.6	50.8
H20	1,039,880	40,173	32.6	35,141	3.3	29.3
うち単独分	743,966	28,741	7.5	20,483	2.6	4.9
過去5年間平均	1,691,469	64,109	23.7	39,057	6.3	17.4
うち単独分	851,398	32,323	8.1	23,590	8.5	0.4